

星野さん投球術伝授

プロ選手 母校・旭工高で教室

旭川市出身のプロ野球選手で、オリックスや阪神の投手として計176勝を挙げた星野伸之さん(56)が講師を務める野球教室が、母校の旭川工業高の冬季練習場で開かれた。市内や近郊の野球少年団16チームから、計32人の投手と捕手が参加した。

上川管内の測量会社など

でつくる上川調査設計協会と、同協会の若手社員らで



投球動作を実演しながら、子どもたちを指導する星野さん

(中央) 三西野正史撮影

組織する道北若力会が主催し、8日に実施。地域貢献の一環として2019年から始めており、今年で5回目を迎えた。

星野さんは「投球動作は、体の軸を意識しながら肩や

腰から始動させて」「一本足でも立てるくらい、踏み込んだ足にしっかり体重を乗せて」などと、手本を見せて投球術を伝授。さらに「キャッチボールの時から意識すると、本番でも再現できる」と練習時の心構えもアドバイスした。

当麻野球少年団の深谷龍太郎(11)「当麻小5年」は「指導が分かりやすく、(球を)コントロールしやすくなった。プロ選手はやっぱりすごい」と話した。

(小林健太郎)

星野さんがプロの技を伝授

上川調査設計協会、道北若力会の「少年野球教室」

旭川出身のプロ野球選手、星野伸之さん(56)を招いた少年野球教室が8日旭工高室内練習場で行われた。

上川調査設計協会(会長)と測量・設計地質業界の若手をつくる道北若力会(会長)の地域貢献事業。千

葉会長が星野さんの後援会長という縁で5年前から開いている。

教室には旭川軟式野球連盟少年部に加盟登録

するチームの中から、バツリ十六組三十二人が参加した。

星野さんは一九八三年に阪急レーズ(現オ



星野さんは、一人ひとりにピッチングのコツをアドバイスをした

リックスアルトウエーアスに入門。阪神でも年間プレーし、通算百七十六勝をマーク。二〇〇二年に現役を引退し、阪神オリックスで投手コ

ーチを務めた。現在は解説者として活躍。旭川では四年生以下を対象にした星野伸之杯大会も開催されている。

星野さんはピッチングをする前にキャッチボールの時からシートを意識して投げ、下さ

い。しっかり軸足にのってためを作ってから肩やお尻から出る感覚で投げる

走り込みをやって下半身を鍛えてください。ピッチャーはゴードが速いだけでは稼げられないので球の切れとコントロールが大切ですよと語

さらに捕手からどんな声をかけられたら嬉しいですかの質問に「打たれてもいいよ、野手が守ってくれから、無気で逃げないリードをしてくれたら、真気をもらえますよ」とアドバイス。

旭川での指導は五年目になる星野さんは「子どもたちは自分で考えてやっています。質問もしつかりできるし、年々レベルアップしていると思います。この中からプロ野球選手が出てくると思うので、郷里の後輩たちの活躍に期待しました。」(佐藤修彦)

北海道新聞

あひかり新聞